

# 2016年3月期 決算説明会

株式会社 メルコホールディングス (6676)

2016年4月28日



# 本日の内容

- 1.2016年3月期決算概要
- 2.重点取組みのご報告
- 3.2017年3月期 業績見通し
- 4.メルコグループのご紹介
- 5.中長期的な経営戦略



# 2016年3月期決算概要



## はじめに

### ●創業40周年

メルコグループは、2015年5月1日をもって創業40周年を迎えました。これもひとえにステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。



メルコ創業40年記念式典にて



40周年記念特別モデル



# 2016年3月期 決算のポイント

### 1. 構造改革の最終年度として実施した施策により減収

市場のピークアウトが明らかになったスマホ関連アクセサリ の整理、海外事業における不採算製品及び地域の縮小と撤退を断行

### 2. 高付加価値品の投入、販管費削減が奏功し増益

高付加価値製品・法人向けカスタム製品・自社ソリューションサービスの拡大、販管費削減により増益



### 3. サービス事業「アパートWi-Fi」の拡大

「㈱バッファロー・IT・ソリューションズ」の 「アパートWi-Fi」が前年同期比350%増の導入を実現し 累計導入実績500棟を達成しました。





# 2016年3月期 連結決算P/L

売上高 : サプライ(スマホアクセサリ)及び海外の売上減

の影響により減収

営業利益 : 粗利改善、販管費削減、金融・サービス成長で増益

	1503期	1603期	前其	明比
	(億円)	(億円)	増減率(%)	増減額(億円)
売上高	826	800	<b>▲</b> 3.0	▲25
営業利益 (率)	35 (4.2%)	44 (5.4%)	24.0	8
経常利益	45 (5.4%)	53 (6.6%)	18.4	8
当期純利益 (率)	(3.9%)	37 (4.7%)	18.0	6



### 2016年3月期部門別連結売上高

周辺機器 : サプライ製品と海外販路の低収益製品を整理した

ことで減収

サービス : 代行設定サポート事業の受託件数が減少し減収

金 融 : 当初計画どおり順調に成長

	1503期	1603期	前期比	
	(億円)	(億円)	増減率(%)	増減額(億円)
周辺機器	791	763	<b>▲</b> 3.6	<b>▲</b> 28
サービス	23	22	<b>▲</b> 3.8	<b>1</b>
金融	11	16	35.7	4
合 計	826	800	<b>▲</b> 3.0	<b>▲</b> 25



# 2016年3月期部門別連結損益

周辺機器 : 高付加価値製品に注力し、低収益製品の整理で増益

サービス : 高収益の自社サービス比率拡大で微増

金 融:堅調に推移し増益

	1503期	1603期	前期比		
	(億円)	(億円)	増減率(%)	増減額(億円)	
周辺機器	29	33	11.6	3	
サービス	3	3	18.4	1	
金融	5	9	66.4	3	
計	37	45	19.8	7	
消去	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 1	_	1	
合 計	35	44	24.0	8	

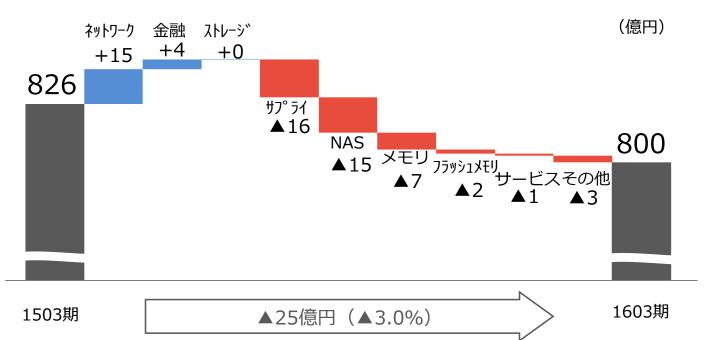


## 2016年3月期 カテゴリ別売上高分析

増収 19億円

中継器ニーズの高まりでネットワーク製品の売上増

減収 44億円 ネットワーク製品を除き、不採算カテゴリの縮小により売上減サプライ製品は低収益製品整理の断行、NASは海外事業の縮小撤退により減収



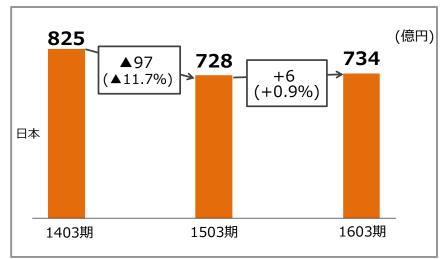


## 2016年3月期 地域別売上高推移

単位:億円	日本	北米・ 中南米	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高 (前期比)	734	29	22	16	800
	(0.9%)	( <b>A</b> 36.1%)	( <b>1</b> 30.7%)	(▲25.3%)	( <b>▲</b> 3.0%)

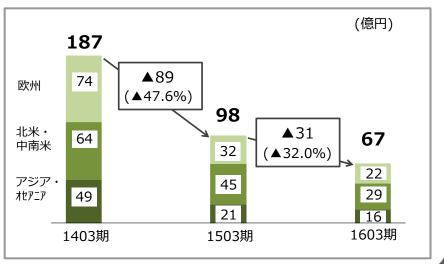
#### <日本>

シェアの堅持及びネットワーク製品を中心とする高付加価値製品比率の向上により増収



#### <海外>

販売体制の再構築を目的として、不採算販路 の縮小と撤退を完了





# 連結決算 B/S

単位:百万円	1503期末	1603期末	差異
流動資産	65,579	60,476	<b>▲</b> 5,103
現金及び預金	8,404	4,664	<b>▲</b> 3,740
受取手形及び売掛金	13,844	10,673	▲3,171
棚卸資産	8,487	7,673	▲814
その他の流動資産	34,844	37,466	2,622
有形・無形固定資産	1,910	1,587	▲323
投資その他の資産合計	1,524	2,917	1,393
資産合計	69,015	64,982	<b>▲</b> 4,033
流動負債	21,276	18,671	▲2605
支払手形及び買掛金等	14,762	12,280	<b>▲</b> 2,482
未払法人税等	372	155	▲217
その他の流動負債	6,142	6,236	94
固定負債	2,373	2,507	134
負債合計	23,650	21,179	▲2,471
純資産合計	45,364	43,803	<b>▲1,561</b>
負債純資産合計	69,015	64,982	▲4,033



# 重点取組みのご報告



## 重点取組みのポイント

### 1.3ヶ年の構造改革の完遂

市場がピークアウトしたスマホ関連アクセサリの整理海外事業における不採算製品及び地域の縮小と撤退を断行



### 2. 経営体質の転換が完了

部門・拠点統合による経費の削減、製品供給体制の強化 在庫の効率化等、経営力強化を図る



### 3. サービス事業拡大への取り組み

「アパートWi-Fi」 を中心に、自社ソリューションサービス 事業の拡大に注力





# 1. 3ケ年の構造改革の完遂

スマホ関連製品の整理と海外不採算事業の縮小を完遂

#### スマホ関連製品の整理

■縮小

スマホ市場の減速を受け、スマ ホ本体の売れ行きの影響を強く 受ける、ケース・フィルムを中 心とした低収益製品を大幅に縮 小。

■ 継続

USB充電器やBluetoothヘッド セット等、技術による差別化が 可能な通電製品は、強みが活か せるカテゴリとして継続。

### 海外不採算事業縮小と撤退

収益改善見込みの低い地域の事業 縮小と撤退を断行。

製品軸ではNAS製品を中心とした法人向けに販売体制を再構築。





## 2. 経営体質の転換が完了

部門経費の削減、製品供給体制の強化、在庫の効率化等、経営力強化を図る

#### 在庫の効率化 事業の縮小・撤退に合わせ、在庫の 効率化を実施 1.6 1.5 (ヶ月) 1.5 102 **▲**17 85 **▲**8 77 (億円) 棒:金額 線:月数 1403期 1503期 1603期

### 販売管理費の徹底削減 部門経費の見直しを行い、前期比 約10億円の削減 (億円) 162 **▲**20 142 **▲**10 131 1603期 1503期 1403期



### 3. サービス事業拡大への取り組み

「アパートWi-Fi」 を中心とした、自社ソリューションサービス事業の拡大に注力

### 「アパートWi-Fi」

前年同期比350%増の、累計導入実績500棟(約5,000戸)を達成。 従来の機器販売ではリーチできない市場を積極攻略し、Wi-Fi環境の 家庭普及率向上を目指す。



#### 「BITSレンタル」

建設現場等の短期利用向けNAS 監視カメラレンタルサービス。 今後も利益率の高い、自社独自 サービスの創出に注力していきま す。

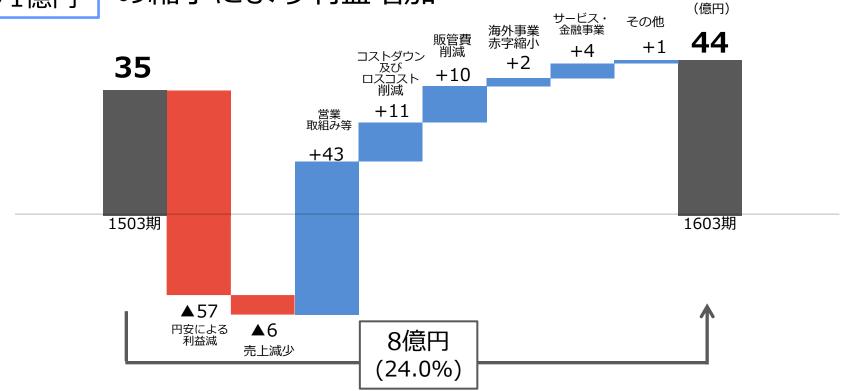




# 営業利益分析

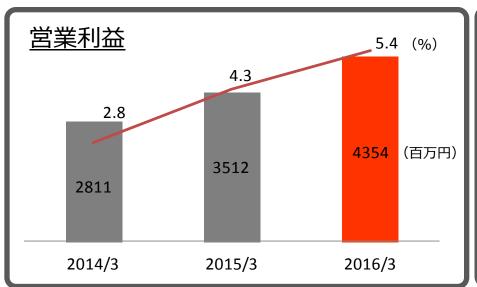
減益 63億円 国内個人消費低迷の影響による売上減少、円安進行 による影響で利益減少

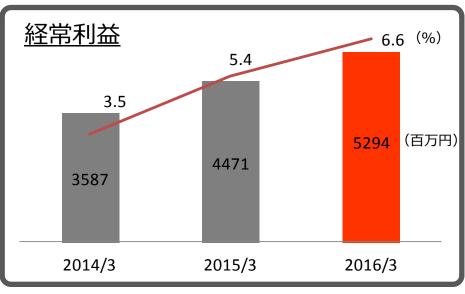
増益 71億円 営業取組み、販管費削減、コストダウン、海外赤字 の縮小により利益増加

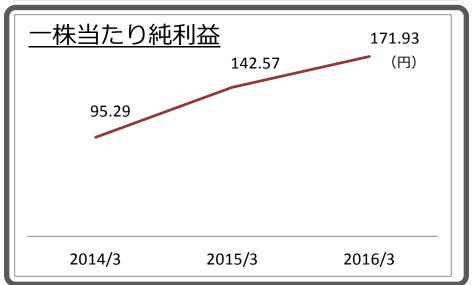




# 過去3年間の利益推移







過去3年間、全社一丸と なって構造改革に取り組 み、低成長時代に利益を 生み出す体制を構築しま した。



# 2017年3月期 業績見通し



# 2017年3月期 年間業績見通しのポイント

### 1. 研究開発投資・先行投資を積極的に行い増収減益

売上高 : 830億円(前期比 : 3.7%)

営業利益: 35億円(前期比:▲19.6%)



### 2. 為替は変動率の高い状況が続くと予想

為替レートは、通期1ドル=120円を想定



### 3. 法人向けネットワーク製品と自社サービスを核に

IoT時代を見据えたネットワーク製品、利益率の高い自社 サービスソリューションの拡大に注力。

技術力で差別化された製品の投入でブランドカ向上を目指す。





## 2017年3月期年間業績見通し

売上高 : 市況の厳しいメモリ・ストレージ以外を伸ばし増収

営業利益:積極的な研究開発投資・先行投資により減益

	1603期 実績	1703期	前其	前期比	
	关限 (億円)	見通し (億円)	増減率(%)	増減額(億円)	
売上高	800	830	3.7	30	
営業利益 (率)	44 (5.5%)	35 (4.2%)	<b>▲</b> 19.6	<b>▲</b> 9	
経常利益	53 (6.6%)	46 (5.5%)	<b>▲</b> 13.1	<b>_</b> 7	
当期純利益 (率)	37 (4.6%)	35 (4.2%)	<b>▲</b> 6.3	▲2	



## 2017年3月期事業部門別連結売上高

周辺機器 :マーケットシェアの堅持と高付加価値製品の投入で増収

サービス : 「アパートWi-Fi」の拡大と新規ビジネスの取り組みで増収

金 融:前期同程度の売上を見込む

	1603期	1703期	前期比		
	実績 (億円)	見通し (億円)	増減率(%)	増減額(億円)	
周辺機器	763	791	3.7	28	
サービス	22	24	7.7	2	
金融	15	15	<b>▲</b> 3.4	0	
合 計	800	830	3.7	30	



主な増収要因

# 2017年3月期 カテゴリ別売上高分析

### 前期差30億円の増収、主な要因は以下の通り

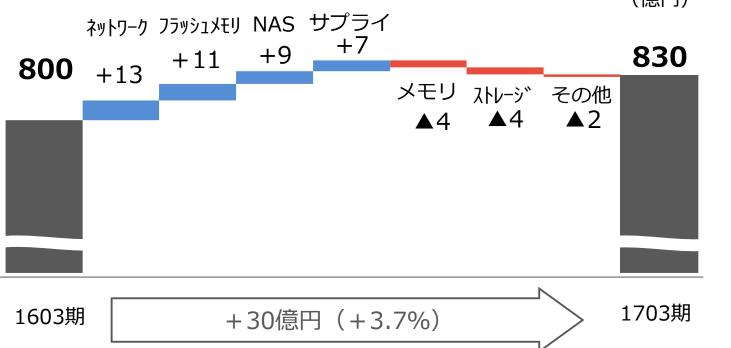
ネットワーク : 中継機や法人向け製品を拡販し、No1

シェアを維持

NAS: 法人向け新規モデルを投入

サプライ: 技術力を活かした新製品を投入

(億円)



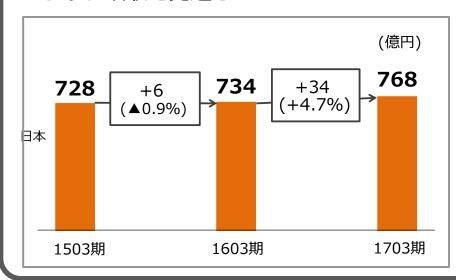


## 2017年3月期 地域別売上高見通し

単位:億円	日本	北米・ 中南米	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高 (前期比)	768	25	26	11	830
	(5.4%)	(▲17.3%)	(16.9%)	(▲29.4%)	(3.7%)

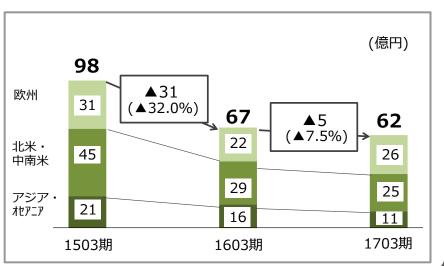
#### <日本>

好調なネットワークと法人向けNASの拡販 により、増収を見込む



#### <海外>

オーディオNASが好調な欧州は増収見込み 北米、アジアは法人向け販路の再構築をする





# 設備投資・減価償却費・研究開発費

	単位:百万円	1403期 実績	1503期 実績	1603期 実績	1703期 (見通し)
試	<b>d備投資</b>	1,385	432	401	405
	有形	420	306	344	375
	無形	964	126	57	30
洞	<b>适值償却費</b>	862	774	682	655
	有形	462	343	289	375
	無形	399	431	392	279
研	究開発費	2,810	2,517	2,031	2,355



# メルコグループのご紹介



### メルコグループ

メルコホールディングス 純粋持株会社

#### バッファロー

#### *BUFFALO*

中核となるブランドメーカーで デジタル家電・パソコン周辺機器の 総合メーカー

#### シー・エフ・デー販売

### **CFD**

ハイレベルな個人ユーザー向け

#### バッファロー・IT・ソリューションズ

#### **BUFFALO**...

IT Solutions

納入設定・設置・保守サービス

#### バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

#### バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

#### バッファローダイレクト

インターネットを活用した機器の販売

#### メルコフィナンシャルホールディングス

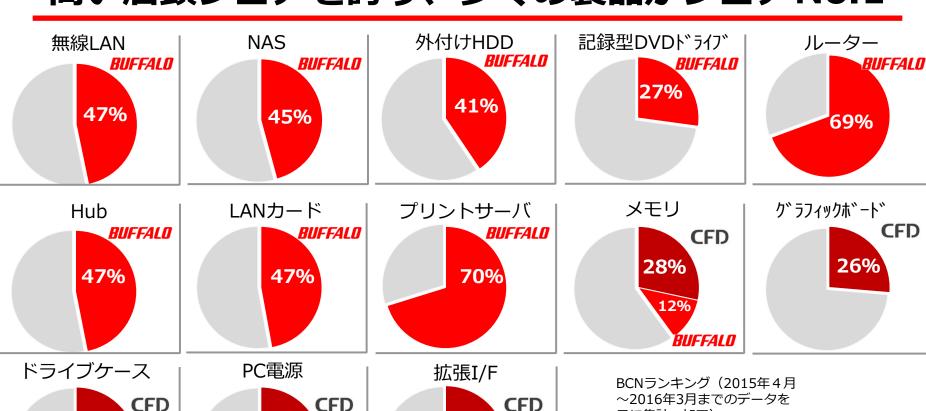
グループにおける金融事業の統括管理

#### [海外] Buffalo Americas 他

法人向けNAS・無線LANなどの販売



### 高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1



33%

36%



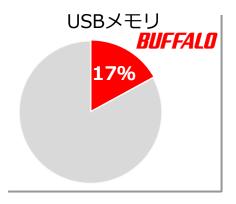
33%

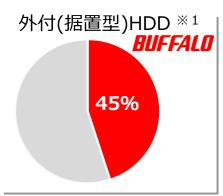
BCNが実施する「BCN AWARD」において、バッファローで10部門、CFD販売5部門の計15部門で2015年1月~2015年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました

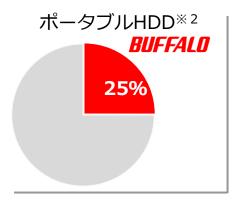
元に集計・加工)

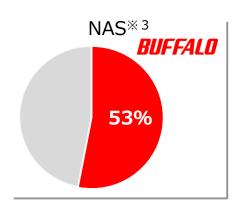


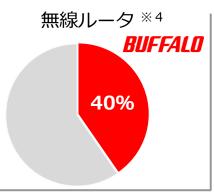
### GfK Japan 調べでも高い店頭シェアを誇ります

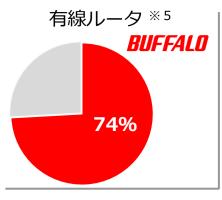












- ※1:外付(据置型) HDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から 「据置」を抽出
- %2:ポータブルHDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から「ポータブル」を抽出
- ※3:NASは、『HDD』より、「LANインタフェイス」から 「ワイヤード、ワイヤレス、他LAN」を抽出
- ※4:無線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「共用」を抽出
- ※5:有線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「有線」を抽出

全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ(2015年4月~2016年3月までのデータを元に集計) ※メーカー別販売数量シェア



GfK Japanが実施する「GfK Certified」において、HDD、ネットワークで 2015年1月~2015年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位 であることを認定されました

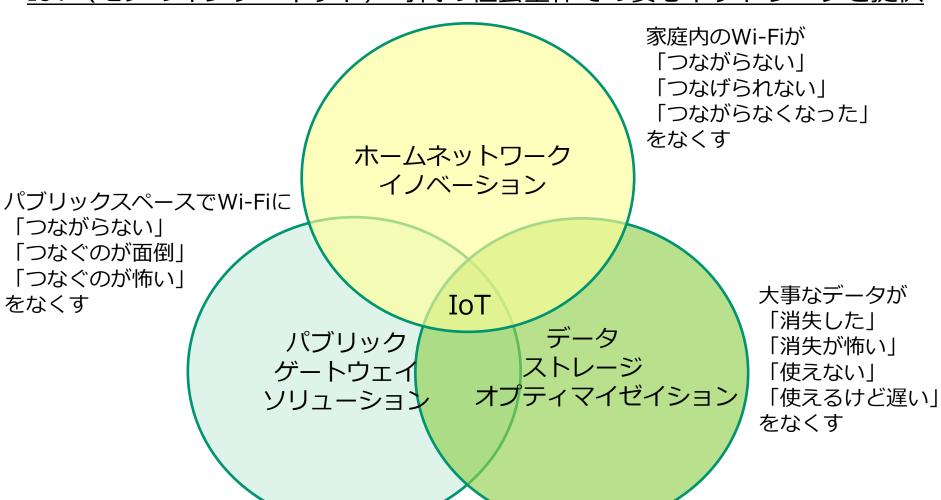


# 中長期的な経営戦略



### 中期ビジョン(ゲートウェイ2.0)の概念図

IoT(モノのインターネット)時代の社会全体での安心ネットワークを提供





### これまでのコーポレートステートメント

### BUFFALO コーポレートステートメント

1990年 パソコン、もっと使いやすく

2000年 インターネット、もっと使いやすく

2006年 デジタルライフ、もっと快適に



### コーポレートステートメントの刷新

### 「つなぐ技術で、あなたに喜びを」

私たちはこれまでも「IT時代におけるお客様の利便性 向上」を使命とし、使いやすさと快適さを感じていた だける商品及びサービスの提供を行ってまいりました。

そしてこれからは、誰もが簡単にそして安心してインターネットに接続でき、より安全で快適にデジタルデータを保存・再生できる喜びを提供していきます。

これらの事業活動を通して、理念を共有するすべての ステークホルダーの幸せを実現していきます。



つなぐ技術で、あなたに喜びを





### 資本政策

成長への投資と安定した株主還元を両立し 長期的な株主価値の向上を目指します

- ①総還元性向80%を目指す(5期)
- ②長期的な一株当たり純利益の成長を目指す



### メルコバリュー

#### ■千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します

#### ■顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

#### ■変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

#### ■一致団結

私たちは、フェアアンドオープンの精神で、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

#### 本資料に関するご注意等

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあることをご承知おきください。

#### くお問合せ先>

株式会社メルコホールディングス 社長室 TEL: 050-5830-8865 / FAX: 050-5830-8867

E-mail: ir@melcoinc.co.jp